



GALLERY HEPTAGON
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

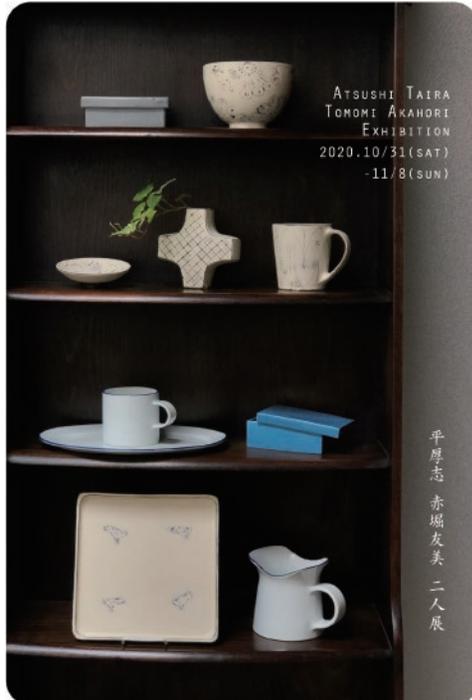
Press Release
2020.10/19

平厚志・赤堀友美 二人展

Atsushi Taira × Tomomi Akahori Exhibition

2020.10/31 sat - 11/8 sun 11/5 木曜日休廊

12:00-18:00





GALLERY HEPTAGON
料金別納郵便

ATSUSHI TAIRA × TOMOMI AKAHORI
EXHIBITION

2020.10/31 (SAT) - 11/8 (SUN)
11/5 (THU): CLOSED
12:00-18:00

平厚志・赤堀友美 二人展



GALLERY HEPTAGON
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

〒602-8175
京都市上京区下立売通管恵光院西入
中村町523
TEL/080-7583-3388
www.heptagonworks.com



●市バス・「丸太町管恵光院」下車5分・「千本丸太町」下車8分
「堀川下立売」下車10分 ●駐車場はございません。近隣のコイン
パーキングをご利用ください。●来場時はマスクをご着用ください。

このたび、ギャラリー・ヘプタゴンでは陶芸家平厚志・赤堀友美 二人展を開催いたします。

平厚志は白い化粧土の下から文様が浮かび出る浮花（うか）というオリジナル技法で作った焼き物に取り組みんでいます。

千葉県に生まれ、1996年に沖縄県立芸術大学陶芸コースを卒業後、沖縄県工業技術センターにてガレナ釉について研究したのち、2005年より人間国宝にも認定された原清さんに師事し、現在は独立。静岡市清水区に工房を構えています。沖縄に根付いた民藝の要素や壺屋焼の薫陶を受け、また自ら朝鮮の焼き物やアフリカのお面のようなプリミティブなものに惹かれるという平の手から生まれる文様は、工房の周囲に広がる富士山の裾野の自然と相まって優しくも深くもある表情を見せています。

赤堀友美は平と夫婦でもあり、同じ工房で磁器作品に取り組みんでいます。主に鑄込みと呼ばれる技法で磁器を素材に、石膏型を使用して制作しています。身の回りのものをモチーフに、型取ったり模したりして独自の「かわいい」感覚を作品に活かしています。理化学用品をおもわせる蓋物の箱やシャーレ調のケース、瑠璃のようなポットやソーサーなどは生活空間にあるだけで少し違った空気感を醸し出します。

子育てをしながら互いにリスペクトし合う彼らの温かみでユニークな作品たち。

平厚志としては京都初、二人展としては関西初となる本展にて、そのバリエーション豊かな作品たちを一堂に展示いたします。

ぜひこの機会に平厚志・赤堀友美の世界をご高覧ください。

平厚志・赤堀友美 二人展

Atsushi Taira X Tomomi Akahori Exhibition



平厚志 クロス花器 (2020)
赤堀友美 楕円プレート・マグカップM (2020)



赤堀友美 ピッチャーM・シャーレ (2020)



平厚志 絵ボウル・絵マグカップ大・絵小皿 (2020)



GALLERY HEPTAGON
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

Press Release
2020.10/19

平厚志・赤堀友美 二人展

Atsushi Taira × Tomomi Akahori Exhibition

平厚志 Atsushi Taira

1973 千葉県市川市生まれ

1996 沖縄県立芸大陶芸科卒業

沖縄県工業試験場(沖縄工業技術センター)でガレナ釉研究

1997 原清先生に師事

市川に工房を構えたのち、

2015年より静岡県静岡市清水区に移住し、現在に至る

2003年から3年間、市川市塩浜で300人の土器野焼きを行う

〈主な展示会〉

うつわ楓(青山)、shizen(神宮前)、匙屋(国立市)、スパイラルマーケット(青山)、hase(名古屋)などいろいろ

〈イベント〉

工房からの風、クラフトフェアまつもと、にわのわ、灯しびとの集い、遠州横須賀街道ちっちゃな文化展など参加

赤堀友美 Tomomi Akahori

1977年 静岡市生まれ

2000年 京都芸術短期大学 専攻科終了

2005年 滋賀県立陶芸の森 スタジオアーティスト終了

静岡市に築窯

展覧会・店舗取り扱い等多数